

子どもの遊び場 ニュース

2017年8月発行 問い合わせ：広川町建設課 0943-32-1157

●「子どもの遊び場」の変化と遊び場づくりの大切さについて、語り合いました！

8月5日10時から「いこっと」で、13人の方に集まっていただき「子どもの遊び場ワークショップ～説明会～」を開催しました。

まず最初に、ワークショップの前に説明会を開催したのは、子どもの遊び場づくりを既存公園の整備だけでなく、子育てしたくなる環境づくりと共に行うことになったという説明をしました。

次に、集まっていた参加者に自己紹介として「子ども時代の遊び」を紹介してもらいました。

その後、経過説明として7月に行ったヒアリング結果の報告をし、広川町の子ども遊び場の課題について話し合いました。最後に、現在考えている「子どもの遊び場づくり」の方法を説明し、みなさんに検討していただきました。

プログラム

1. 参加者紹介
2. 経過説明
3. 子どもの遊び場について

●参加者紹介では、子ども時代の思い出や、子どもや孫との遊び方で盛り上がりました。



★橋本杏奈さん
ゲームで遊んだ世代
子育て中ですが、ど
うやって遊んだら
いいかわからない…

★永野千ヨ子さん
近所の子もたちに
昔遊びを教えていま
す。みんな、楽しそう
ですヨ！

★倉敷信夫さん
顎と竜光寺公園に
行きますが、誰もい
ないことが多い。遊
び相手が欲しい。

★中瀬春吉さん
川でさかな釣りをし
たのが、子ども時代
の思い出です。

★野口絵美さん
子どもの頃は田んぼ
や野山で草花で遊ん
でました。現在、4
人子育て中。

★生田友見さん
川でさかな釣りをし
てました。今の子ど
もたちは野球もする
けどゲームも好き。

★山本瑠里子さん
2人の子もと遊び
場探しの最中であ
るが、公園で遊んで
いる人がいない！

★有働由美子さん
缶けり・ゴムとび、川
遊びをしてました。
子育て中は公園で
遊びましたヨ！

★飯田せつ子さん
孫と遊んでいます。
車の危険がないとこ
ろで遊びたいけど、
行くところがない…

★入江大輔さん
子ども時代は川で遊
んでいました。1年
前に引っ越してきた
が広川は良いとこ。

★榊健次さん
昔は神社でビー玉、
メンコで遊んでい
た。遊び場は近所と
の共生が必要です。

★高橋広義さん
少年野球の指導をし
ていました。広川に
は子どもの遊び場が
少ないかも。

★内藤浩樹さん
自分はファミコン世
代。夏になれば子ど
もを連れて川に行
く！自然から学ぶこ
とは多い。

昔の子どもは
野・山・川で遊んでました！
友だちがいて楽しかったよね。

●「子どもの遊び場」を作るだけでなく、みんなで面白くしたいね！

目指すもの

身近な公園で子ども達を
安心して遊ばせることができる
“子どもの遊び場づくり”



課題

- ・子どもだけで遊べない
- ・親子で遊ばない
- ・遊び方を知らない
- ・外で遊ばない



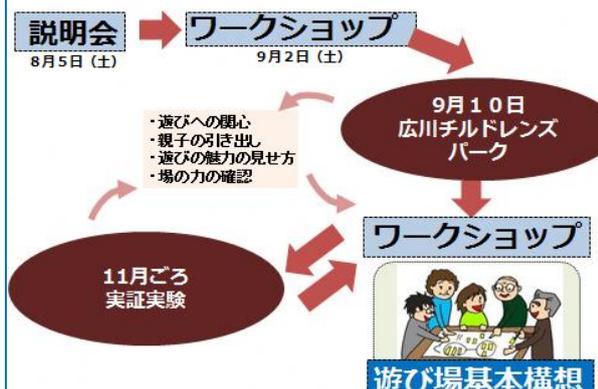
体力がない

**子どもの問題ではなく
大人の問題**

子どもの遊び場のつくり方



スケジュール



■目指すもの

今回の取り組みは広川町の人口減少対策である「総合戦略」の事業で、子育て世代が望む「子どもの遊び場」を作ることです。

■課題

事務局では久留米大学・保育所・幼稚園の園長・保育士にヒアリングをし、子どもたちが外で遊ばないという現状を把握しました。その結果、子どもの体力が落ちていることがわかりました。それは子どもの問題ではなく大人社会や大人たちの問題ではないかと考えました。そこでみなさんに、子どもの遊びの現状についてお話を伺いました。

「昔は子ども同士で遊んだ。今の子どもは遊び方を知らない」「それは学年を超えて遊ばないからではないか」「低学年は親が送り迎えをしている」。

「今の子は自分の家においてネットを使って友達とゲームをするから外で遊ぶ必要がない。そんな現状を踏まえて、子どもの遊びを考える必要がある」「ゲームより、もっと面白いことがあると教えたい」

「毎年、ふるさとの川に子どもを連れていく。子どもは川で遊びながら危険なことを知る。自然は学びの場になる」「親が汚れる・怪我をすると文句を言うというが、少数ではないか。」「我が家も子どもはどろんこで遊ばせたい。だから、安心して遊べる場が欲しい。」

「昔は大きい子が教えながら子どもだけで遊んでいた。今は昔と違って異年齢で遊ばない」「今は事故や誘拐が心配なので親が付いて遊ばせないといけな時代。親も大変だと思う」などの意見が出ました。

■子どもの遊び場のつくり方

「子どもの遊び場づくり」は、大学やNPOの支援を受けて遊びを創る・仲間を創ることから始め、最終的に既存公園の改修案と遊び方を基本構想にまとめます。

今後は9月2日に第1回ワークショップを行い、10日にNPO 西新チルドレンズミュージアム・久留米大学の協力を得て「プレ・広川チルドレンズパーク」を開催し、遊び場づくりを体験することになりました。